

稼げる紅花への支援を期待

町長 一つの産業まで育て上げるのは難しい



前半 後半
録画を配信



よこやま かずひろ
横山和浩 議員

後継者不足が課題の紅花。
将来に向けた新たな取り組みを期待する。

稼げる紅花への支援

問 白鷹町は紅花生産量日本一であり、町の魅力も支えている。稼げる紅花への支援の考えは。

町長 新商品開発・加工等には膨大な労力が必要であり、紅花生産能力も足りておらず、一つの産業まで育て上げるのは難しい。観光客に購入いただける商品を提供できていないのが弱みと認識している。

紅花の収益性が課題

問 生産者の確保、連作障害が問題とされているが、本質的な課題はその収益性にあり、紅花の価値を多角的に捉え直し、稼げる紅花を確立するための支援が必要ではないか。

町長 町内の各種団体（あか）をつくる町連携推進本部」が多様な取り組みを行ない成果が出ている。

紅花は複合経営に適し比較的销售単価も高いが、収穫・加工を機械化できず課題になっ



第30回白鷹紅花まつり
写真コンテスト入選作品

ている。これらを念頭に、継続できるよう協議しながら制度設計したい。稼げる紅花文化というのも、非常に大事な視点だと思う。

紅花の種の活用

問 機械化が見込める分野として、例えば種の活用は。

商工観光課長 次年度の作付け、紅花茶の材料、それ以外に種は用いられていない。種を活用したい方には、従来の枠組みの中で支援できる。

チームづくり

問 紅花の可能性を探りブランド育成するようなチームを設けては。

商工観光課長 何らかの新たな取り組みを始めるには行政のみでは難しい。

町内の人材のみならず、有識者、事業者などと連携し、様々な制度を使い取り組む必要があると考える。

観光への活用

問 町が取り組むウェルネスツーリズムでの紅花活用は。

商工観光課長 紅花染めなど現在の取り組みに加え、紅花という言葉やキーワードに地域資源と組み合せた取り組みは十分に可能と考えている。

私もひとこと

後継者がいなくて困っているが、もう少し頑張りたい。町の支援に期待してる。
(70代男性)

紅花への思いを伺う

問 紅花は文化性や視覚的な美しさがあり、感性と機能の両立ができる希有で可能性を秘めた資源。町長の紅花への思いを伺う。

町長 紅花の取り組みはまだ30年。50年、百年という歴史の中で活かされれば良いと思う。町民の皆様の思いが続くよう、私からも皆様をお願いしたい。